

安倍日本国内閣総理大臣、トウスク欧州理事会議長及び
ユンカー欧州委員会委員長による北朝鮮に関する声明（仮訳）

我々は、北朝鮮が国際的な課題における最優先事項であり、ますます国際の平和及び安全に対する新たな段階の脅威となっているとの認識を共有する。我々は、最近の大陸間に及ぶ射程距離を有する可能性の高い弾道ミサイルの発射を含め、複数の国連安保理決議に著しく違反した北朝鮮による継続する核実験及び弾道ミサイル発射を深刻に懸念するとともに、最も強い表現で非難する。我々は、北朝鮮の核及び弾道ミサイル計画のための関連品目及び技術並びに資金の移転を更に制限するための措置を強化する用意があり、その一環として、新たな、かつ包括的な国連安保理決議の早急な採択を要請する。我々は、国際社会に対し、関連する全ての国連安保理決議の持続的、包括的、かつ、完全な履行を確保する努力を倍加させるよう強く呼びかける。

北朝鮮は、地域的及び国際的な緊張を更に増大させる、更なる挑発行動を自制しなければならない。我々は、北朝鮮に対し、関連する全ての国連安保理決議の下での国際的な義務及び2005年の六者会合共同声明を即時に、かつ、完全に遵守し、全ての核その他の大量破壊兵器及び弾道ミサイル計画を放棄すること、完全な、検証可能な、かつ、不可逆的な朝鮮半島の非核化を目指す、国際社会との信頼できる対話を行うための行動に従事することを求める

北朝鮮は、拉致問題の速やかな解決を含め、国際社会の人道及び人権上の懸念に一層直ちに対処しなければならない。